

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号 4

1. 大正区将来ビジョン2025(素案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
1-1	角元委員	総務課 (庶務)	-	大正区将来ビジョン2025が、より多くの区民に知られるきっかけや手段を、もっと増やしてほしいと思います。	将来ビジョン2025については広報紙やホームページでの周知、区役所や市民情報プラザでの配架、地域まちづくり実行委員会等の各種地域団体へ周知を行う等多くの区民の皆様にご知っていただけるよう努めてまいります。
1-2	角元委員	地域協働課 (地域協働)	34ページ ものづくり企業の 活性化	ものづくり企業もそうだが、大正区内に会社(事務所)があると、ネットワークやサポートを受けれるメリットがあれば、空家を事務所にする考えもでてくると思います。	大正区には企業と区役所が協働するものづくり事業実行委員会による活動等で、既にものづくり企業間のネットワークがあることから、引き続き実行委員会としての活動に協働して取り組むとともに区内外へ情報発信を行うことで、ネットワークの拡大に繋げていきたいと考えております。 また、空家については魅力的な物件を情報発信するとともに、その利活用を考えていただくきっかけづくりに取り組んでいます。 具体的には、区内にある空家やリノベーション物件を巡り、利活用について考えていただくきっかけとして「Taishoさんぽ日和(空家まち歩き)」を令和5年3月までの第4日曜日に開催しているところです。 これらの取組を通じて、建物の新陳代謝を促し、マイナスストックをプラスストックへと転換を図ってまいりたいと考えています。

1. 大正区将来ビジョン2025(素案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
1-3	土井委員	地域協働課 (防災防犯)	23ページ 地域安全防犯対策	令和3年重点犯罪発生件数が、大阪市で最も少ない要因は何でしょうか。	<p>大正区における犯罪発生件数が少ない原因については様々な要因が関連すると思われませんが、一般的に大都市部であるほどより多く発生し、また、地域コミュニティ意識が希薄化すると犯罪増加に繋がると言われております。</p> <p>大正区については、もともと府内でも落ち着いた地域と言われており、転出・転入者も少ないことから長くこの地域で住んでいる方が多くおられます。また、地域振興会(いわゆる町会)への加入率も大阪市平均48.5%よりも大正区は58.8%と高いことから地域コミュニティの繋がりの強い区といえます。</p> <p>加えて地域では日ごろから区内全10校下の地域コミュニティによる地域活動として、「こどもの見守り活動」や「青色防犯パトロール」、「防犯カメラ」の設置などに取り組んでいただいていることにより、犯罪を抑制しまちの安全が守られているものと考えております。</p> <p>さらに、区役所においても職員による安全パトロールを実施しているほか、建設局と連携した放置自転車対策により、犯罪の起こりにくい環境整備等に取り組んでいるところです。</p> <p>今後も地域の皆様とともに区役所・警察・消防などの関係機関が一体となって、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。</p>
1-4	土井委員	地域協働課 (地域協働)	38ページ 地域活動の活性化	町内の活動への参加率が致命的に低いように思いますが、要因は何でしょうか。	<p>地域活動への参加率が低調な原因としては、様々な要因が考えられますが、地域住民の高齢化や、ライフスタイルの多様化などにより若い世代やマンションの住民を中心に近隣住民同士のつながりや、地域活動への関わりがかつてに比べて薄くなってきていることも要因ではないかと考えています。</p> <p>しかしながら、他区と比較すると大正区はコミュニティのつながりが強い区であると考えられることから、きっかけさえあれば、地域活動に参加される方がいらっしやると考えます。</p> <p>そのため、日頃、地域活動と関わりの少ない世代をはじめあらゆる世代の住民同士のつながりづくりを促進するとともに、地域活動に参加するきっかけとなり、新たな担い手が生まれるような取組を進めてまいります。</p> <p>また、引き続き地域まちづくり実行委員会の活動支援や、区役所と地域団体だけでなく、地域にある企業とも協働していくことで、持続可能な地域コミュニティづくりの支援に取り組んでまいります。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

書類番号 4

1. 大正区将来ビジョン2025(素案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
1-5	土井委員	総務課 (庶務)	39ページ 区民ニーズの把握	アンケート回答率向上のためのクーポン配付等は既に検討済でしょうか。ロンパルのハニードーナツ、平和堂の和菓子等、まちの特産品を知る為の補助線としても使えるのではと思いました。	ご提案ありがとうございます。 区民意識調査については、より幅広い方から率直な回答をいただくため、無作為抽出した1,500名を対象に無記名での回答により実施しております。 したがって、今のところ謝礼等のお渡しは考えておりません。 なお、回答者の利便性の向上や若年層の回答率向上のため、令和5年度より行政オンラインシステムを活用したweb回答機能の導入を予定しております。
1-6	姉川委員	保健福祉課 (健康づくり)	16・17ページ 健康寿命の延伸	特定健診・がん検診の受診率が、大正区に限らずこの区でも低いのですが、原因は何だと思っておられますか？(僕自身も医療機関で働いており、試行錯誤していますが、なかなか難しい課題だと思っています。) また、施策目標の(イ)などは個人の主観的すぎて曖昧に感じるので、明確に健診受診率何%まで引き上げるといことも目標に入れることはできないでしょうか？	受診率が低い原因としては様々な要因が関連すると思われませんが、自らの健康意識・関心の低さや健(検)診について、その重要性や正しい知識が定着していないことがその一因であると考えております。しかしながら受診率のみが健康寿命の延伸に繋がるものではなく、日常からの健康維持増進を意識していただくことが重要と考えております。 とりわけ食事・運動・飲酒・喫煙等の取組が、がんをはじめとする生活習慣病の発症予防に有効であるため、必要性や認知度の向上など関心を高めるべく啓発を行っており、施策目標についても常日頃からの健康維持増進を意識していただく内容とさせていただきます。 委員ご指摘の受診率の目標値については、大阪市健康増進計画「すこやか大阪21(第2次後期)」で特定健診を30%以上、がん検診については市民アンケートで得られた推計受診率をもとに算出した市民全体の受診率50%以上を目標としていることから、当区についても同様の目標を将来ビジョンで設定し、受診率向上に取り組んでまいります。

1. 大正区将来ビジョン2025(素案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
1-7	姉川委員	保健福祉課 (こども・教育)	27～30ページ こどもの未来が 輝くまち「大正」	<p>(1)(2)拝見させていただき、すごく良い内容だと思いました。これをどうすれば区の魅力として発信できるか？区外に発信する術などはありますか(SNS以外で)？地域団体や民間企業とどんどん手を組んでアイデアを出し合い、発信していく必要があると思います。そうすれば子育て世帯の方、プレ子育て世帯なども大正区に住みたいと思ってくれるのでは。</p>	<p>区ホームページ、広報紙による情報発信はもとより、子育て応援フェアなど区で実施するイベントにおいて広く周知するとともに、区外から来られる集客施設等にチラシなど配架するなど工夫しながら、子育てしやすいまちとしての大正区の魅力を発信できるよう、効果的な手法を検討してまいります。</p> <p>また、関係する取組を行っている民間企業にもご協力をいただき、さらに効果的な発信方法について、ともに考えていただければありがたいと思います。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

2. 令和5年度大正区運営方針(素案)について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
2-1	角元委員	総務課 (庶務) 地域協働課 (地域協働)	1ページ 「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	ビジネスも、他区にはない連携やネットワークで挑戦できる環境であることも念頭に入れて考えていただきたい。 儲かるまちづくりも活性化につながるのではないか。	ご意見のとおり、大正区には他区にないものづくり企業の連携やネットワークがあり、地域のつながりも強いことから、様々なビジネスを効果的に行う環境があると考えております。 今後も引き続き企業と区役所が協働でものづくり事業に取り組み、企業間のネットワークを強化するとともに、ものづくりのまち大正を区内外へ発信していくことで、ビジネスにも魅力があるまちであることを伝えてまいります。

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

3. 令和4年度第2回区政会議での意見と対応一覧について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	外部評価(区政会議委員)意見	回答
3-1	角元委員	総務課 (庶務)	—	紙ベースを徐々にデータ化する取組は必要なことだ と思います。	<p>現在も主に内部書類についてはペーパーレス化を進めている ところではありますが、今後は内外問わずSDGsの観点からも 可能な限りさらなるペーパーレス化に取り組んでまいります。</p> <p>さらに、業務のオンライン化を進めるとともに区民の皆様が デジタル機器やデジタルサービスを体験し、利便性を実感でき る支援体制を充実させることでICTリテラシー(※)の向上をめざ してまいります。</p> <p>(※)パソコンやスマートフォン等を活用する能力</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

4. その他意見、ご質問について				
番号	委員	担当課	外部評価(区政会議委員)意見	回答
4-1	角元委員	総務課 (庶務)	<p>会議内容も「見える化」されていると思いますが、より認知されるために何をすべきかという挑戦を持ちながら、全員で取り組まないとなかなか進まないの、会議始まりにでも「マインドフルネス(瞑想)※」すれば集中できると思います。</p> <p>※マインドフルネス:余計な考えから離れ、心を今に向けた状態のこと</p>	—
4-2	土井委員	地域協働課 (地域協働)	<p>トンポロマルシェに10月、11月と参加してきました。公園内に流れる音楽と賑わいが心地よく、楽しめました。</p> <p>製造業者として何らかの形で参画を考えたいと思う反面、冬場の防寒対策が課題だと思いました。</p> <p>他区からの出店が多いように感じられ、少し寂しかったですが、他区からの集客にもつながるように思えました。</p> <p>今は月1回の賑わいが、住民やプレイヤーの増加によって恒常的なものになるよう期待しています。</p>	<p>この度はトンポロマルシェにお越しいただきありがとうございました。お陰様で第1回目は約2,300人、第2回目は約2,800人と多数の方に区内外からお越しいただきました。</p> <p>また、アンケートでは9割の方から「大正区に魅力を感じる」との肯定的な評価をいただいております。</p> <p>今回の取組は、区内にある日々の暮らしを豊かにしてくれる店舗を紹介することで、訪れた方に大正区のまちの良さを感じていただくとともに、他区から出店される方も大正区がマーケットとして有望であると認識し、商いの可能性を見出しているため実施しているものです。</p> <p>なお、防寒対策をはじめ雨天時の対応は千島公園の使用条件(焚火禁止等)により難しい側面もありますが、様々な工夫を行ってまいります。</p>